



## 康心会汐見台病院 産科だより

外来受診にいらした皆様、こんにちは。

産科病棟スタッフです。1ヶ月前までは暑くて、半袖で過ごしていましたが、ここ最近では上着が必要な陽気になってきましたね。あちらこちらから金木犀の香りがしてきて、寒い季節の訪れを感じます。

さて中途半端な時期ではありますが、今月から産科のことをみなさなにご存知の方向に変わって、産科だよりを始めました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、産科外来は1階に、産科病棟は2階の救急外来の近くにありま。しかし、他の病棟とは違い、施錠された扉があるため、限られた患者さま、ご家族しか入ることができません。そのため、病棟内のご紹介はあまり知られていません。そこで、今回は病棟内の紹介をしていきたいと思います。



産科病棟はなぜ施錠されているのか。



産科病棟は入院している患者さまと限られたスタッフしか病棟入口のカードキーを持っていません。なぜなら、ママ達が命がけで出産した大事な赤ちゃんたちがたくさんいるからです。ここでは月におよそ40〜50人の赤ちゃんが産まれます。その大事な赤ちゃん1人1人の安全を守るために、入り口を施錠させていただいております。面会者や入院している患者さまには大変ご不便をおかけすると思いますが、どうぞご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



分娩台は2つあります。

患者さまからのよくある質問の中に出産が重なってしまった場合はどのようにするのですか？という質問です。当院産科病棟には2つ分娩台があります。不思議と赤ちゃんたちは仲間意識があるのか、同時進行になり、数分違いで出産になることもしばしばあります。そのような場合にはそれぞれに専任助産師が付き、赤ちゃんの産まれてくるタイミングを逃すことなくチェックし、赤ちゃんを取り上げていきます。そのため心配する必要はないです。病棟スタッフは全員助産師ですので、スタッフ全員が出産を取り扱うことができますのでご安心を。

### 編集後記

当院のホームページを近々バージョンアップさせます。産科病棟の写真、赤ちゃんの写真掲載予定です。ぜひチェックしてみてください。合わせて、皆様からのご意見なども頂きたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

担当 郷原

